

Form 5

平成 23 年 6 月 14 日

サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関 (学校名)・担当者: 京都府立 山城高等学校 栗山 裕

2. 参加研究者: Yaron Rafael SILBERBERG

3. 実施日時: 平成23年 6月 4日 (土) 10:30~12:00

4. 参加生徒: 2年生 40人、 年生 人 年生 人 (合計 40人)
備考: (例: 理数科の生徒) 文理総合科の生徒

5. 講演題目: (英文)

(和文) 細胞骨格—細胞核の相互作用

6. 講演概要: 細胞小器官の相互関係や細胞内での微細構造の動きがアクチンにより行われていること。またその動きを測定、観察する AFM(原子間力顕微鏡)使い方、ナノメートル世界の紹介、講演者の活動や生活の紹介。

7. 使用言語: 英語

8. 講演形式:

(1) 講演時間 70 分 質疑応答時間 20 分

(2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、プレ実験など)
プロジェクター使用による講演

(3) 通訳(例: 受け入れ研究者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明
協力者 職・氏名

(4) 事前学習時使用教材 (事前学習を行った場合のみ)

9. 支給経費: 交通費 宿泊費 謝金

10. その他特筆すべき事項: